

緑の相談所だより

- 59号 -

1999. 8. 1発行 編集：財団法人旭川市公園緑地協会旭川市緑の相談所

講習会のお知らせ

親子で作る「野草ガイドブックづくり」

第1回目 植物採集

第2回目 ガイドブック仕上げ

日 時 8月1日(日)
午前10時～12時

8月14日(土)
午前10時～12時

講 師 旭川市立大有小学校 教諭 福地 徳次 さん

集合場所 旭川市緑の相談所(神楽岡公園内)

定 員 親子30組 材料費 400円(1組)

盆栽の楽しさ・美しさ教室

楽しいハーブの使い方講座

内 容 盆栽の植え替え実技指導

内 容 ハーブティーと
ハーブワインの作り方

日 時 9月12日(日)
午後1時30分
～午後3時30分

日 時 9月26日(日)
午後1時30分～午後3時30分

講 師 日本盆栽協会
公認講師 峰岸 一郎さん

講 師 ハーブコーディネーター
黒田 正子さん

定 員 50名 参加料 無料

定 員 50名 材料費 200円

お申し込み・お問い合わせは ☎ 65 - 5553

用土のいろいろ

基本用土



黒土の下層の赤土を乾燥させ、粒の大きさによって大・中・小に分けたもの。通気性・保水性・保肥性に優れている。



関東地方の表層の火山灰土。軽くて軟らかいが粘土分が多いので通気性・排水性は低い。黒っぽいものほど有機物が多い。



花崗岩が風化した土で、主に関西で使われている。粘土分が多く、粒子が細かいので通気性は悪い。



有機物をほとんど含まない火山性の玉土。通気性・保水性が高い。酸性が高いため、使う植物を選ぶ。

改良用土・調整用土



多孔質の軽石。通気性が非常に高い。人工軽石も市販されている。



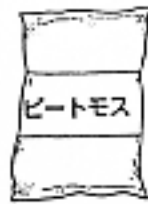
通気性が高く、保水性・保肥性は低い。桐生砂は保水性が高い。



植物性有機物を腐らせたもの。有機物を増やし団粒構造をつくる。



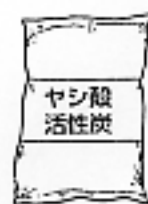
広葉樹の落ち葉を腐らせた代表的な改良用土で、団粒構造をつくる。



腐植化した水ゴケを乾かしたもの。酸性なので酸度調整に気をつける。



ヤシ殻を砕いたピートモスの代用品。酸度は弱く、通気性はやや高い。



ヤシ殻を炭にしたもの。通気性を高め、根腐れ防止効果がある。



もみ殻を炭にしたもの。通気性・保水性を高め、根腐れ防止効果がある。



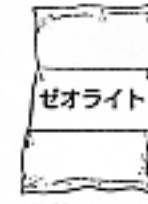
真珠岩からつくった人工砂礫。多孔質で軽く、通気性・排水性が高い。



蛭石からつくった保水性・保肥性の高い無毒の土。腐葉土と同様に使う。



珪藻土でつくった保肥性の高い土。根腐れを防ぎ、ミネラルを補給する。



多孔質の石で、保肥性が高い。粒状のものは通気性を高める。

その他

特定の目的でのみ使うことの多い用土。単用することも多い。

ケト土

盆栽の石づけに使う粘り気のある土。保水性・保肥性が高い。

ヤシ殻

ヤシ殻を砕いたもので、通気性・保水性が高い。

ヘゴ材

ヘゴ属の気根を切り出したもの。通気性が高い。

水ゴケ

ほとんど無菌で非常に軽い。

ロックウール

玄武岩や石灰岩を溶かして繊維状にしたもの。水耕栽培などに使う。

発砲煉石

玉状にした粘土を焼いたもの。水耕栽培などに使う。

山ゴケ

保水性は水ゴケより低い。通気性が高い。

パークチップ

樹皮を砕いたもので、通気性が高い。ランの栽培に使う。
-6月号「ガーデニングマガジン」より-



培養土とは
植物を栽培しやすいように、いくつかの基用土を組み合わせたものを培養土と言う。用土を混ぜたものに、さらに肥料や改良資材を加えたものを指すこともある。

培養土は基用土の欠点が補われ、植物の生育に適している。

夏から秋に向けての庭仕事(8・9月)

花壇の草花

- ・花の咲きがらと枯葉は丹念にとりましょう。種類によっては伸びすぎた茎を切りつめると秋になってからまた花を楽しめます。(ペチュニア、ペコニア、サルビア等)
- ・水やりは十分に、時々葉の裏にもかけてやるとハダニの駆除にもなります、肥料は少量20日に1回

球根類

- ・陰干してあったチュウリップ等の秋植え球根は9月末頃までに植込を済ませます。
- ・ユリは2～3年はそのままおきます、掘り上げる場合は秋遅くなってから、根が乾かない内に植え込みます。
- ・春植え球根(カンナ、ダリア等)は霜がきて葉が枯れるまで育て球根を太らせます、掘り上げたら表面を1度乾かし消毒してから貯蔵します。
- ・鉢植えアマリリスは霜の直前まで外で育て、秋になったら葉を切り取り植え替え凍結しない程度の寒い所で保管します。

果 樹

- ・ナシ等に多い真っすぐ上に勢い良く伸びる徒長枝は根元から切り取ります、
- ・ブドウのつるは8月中旬頃まで伸ばしてから先を摘みます、混みすぎる場合は脇芽を摘みます。今年太くよく伸びたつるは来年の充実した成り枝になります。
- ・肥料は8月に入ったら施してはいけません、冬の枝枯れの原因になります。収穫後落葉してから根先の部分を掘り有機質肥料を施します。
- ・今年はスモモのふくろみ病、モモの縮葉病の相談が増えました。来年に持ち越さないため病果、病葉は早めにとり捨てます、秋落葉してから石灰硫黄合剤で幹や枝を徹底的に消毒します。

野 菜

- ・トマトは8月中旬頃、開花中の花房の先の葉3枚付けて先を摘みます。肥料は8月上旬化成肥料を根の先端あたりに1株50g1回だけ。枯葉、老葉はとります。
- ・キュウリの摘芯、老葉取りは頻りにし風通しを良くする。うどんこ病、アブラムシは早めに発見、初期防除
- ・秋ダイコンの種まきは7月下旬から8月上旬に
- ・ニンニク、ラッキョウの植込は8月中旬から

バ ラ

- ・秋バラのための剪定は8月上旬までに済ますと9月中下旬に見事な花が咲きます。
- ・剪定は若い元気な枝の5枚葉3～5枚残し先を切る。先端の3枚葉の位置では貧弱な花しか咲きません。
- ・病害虫に注意、ハダニ～葉が黄変落葉(ケルセン、ニッソラン)、アブラムシ(オルトラン) ヨトウガ(ランネート) うどんこ病(ミラネシン)

園 芸 療 法

- 旭川医科大学医学部看護学科講師 安川緑先生による研究 -

園芸は土を相手に庭園を造ることで Gardening とほぼ同義語に用いられる。この庭づくりを通して、人の生活全般の向上をめざすものが園芸療法である。



【あ ゆ み】

日本で園芸についての関心は高まりつつあるが、園芸療法がもたらす医学的な効果の実証については手つかずの状態。そこで1998年旭川医科大学看護学科安川緑先生を中心に研究会を発足させ実践研究が進められています。

(車椅子など身体的障害のある人でも気軽に室内で園芸を楽しめるように国内初、移動式花壇の試作品も完成)

【目 的】

草花や土、日光などで五感を刺激することにより、対象者の身体的、精神的、社会的機能の維持向上をはかり、対象者の「生活の質」の改善をねらいとしている。

【効 果】

1998年「園芸療法が老人の心身機能に与える効果-高齢者施設における園芸療法の可能性を探る」という研究課題で実際の園芸療法に取り組み、その結果、以下のような結果が実証されました。

研究の方法

旭川市内の老人病院および老人保健施設に入院、入所中の高齢者(平均年齢 82 ± 5 歳)24名を対象とし夏季の3ヶ月間(週1日計12日)園芸療法を実施。

研究の結果

- 身体的効果
- ・意志の疎通の改善。
 - ・骨塩量(骨密度)の有意な増加。
 - ・身体への影響について: 今回の作業内容では心疾患や脳梗塞などの疾患を持つ高齢者でも、実施前後で血圧や脈拍などは変化せず、身体への負担は認められなかった。

精神的、社会的効果

- ・仲間が出来た満足感、グループ活動における周囲の人々との交流がより精神的な充足感につながった。
- ・自然と触れ合う機会の提供: 普段の生活では経験することのなかった園芸活動において「楽しかった」「満足した」「仲間ができた」という感覚と心地よい疲労感による達成感がもたらされた。

以上の結果から植物への関心、関与が他者への関心、関与へ広がり、社会性の拡大に寄与していった点は、高齢者ケアにおける園芸療法が老年期における孤独や役割喪失といったような危機に対し特に優れた効果があることを裏付けた。

安川緑先生らのグループは、これをひとえに福祉の現場だけに止どめず、学校、公園に普及させて障害者、健常者が助け合って暮らせるノーマライゼーション思想に基づく地域づくりを目指したいと考えている。